

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践	事例検討会議で身体拘束についての研修を3カ月に1回行う事の継続。 利用者が玄関を自由に入出入り出来る様な環境を整える。	3か月に1回午前10時～11時の1時間、動画や書類を用いて身体拘束について学ぶ。 玄関にセンサーチャイムを置き直ぐに職員が気付きいつでも安全に利用者が出入り出来る様対応する。	12ヶ月
2	25	思いや意向の把握	春・夏・秋・冬と四季を通して五感を刺激するレクリエーション活動を実践する。	各担当者が利用者に希望や思いを聞き取り四季に分別し表に表す。(室内、室外共にバランス良く組み合わせる) 2～3ヶ月に1回のペースで企画書作成を行い実行する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。